



University of the Ryukyus Library Bulletin Vol.32 No.4 (No.124) Oct. 1999

## 沖縄戦後資料と私

宮里 政玄

私は17年ほど前に琉球大学を辞めて本土の大学で教鞭をとってきたが、昨年末に帰郷した。それはすでに年も60代後半を過ぎ、故郷が懐かしくなったということだけではなく、本土に移ってから断念せざるを得なくなっていた戦後沖縄の研究を再開したかったからでもあった。

それで帰郷後間もなく琉球大学の附属図書館を訪ねた。本土に移り住んでからも、年に二、三度は帰り、琉球大学を訪れる機会もあった。

しかし訪問の目的も、滞在の時間もおのずから限られたものであり、心にゆとりをもって周囲をみるわけにはいかなかった。こうして再び沖縄に居を移し、十分な時間もある状態での訪問は、感慨もひとしおであった。

私は琉球大学を離任するに際し、記念に「クワディサー」を一本、附属図書館の前に植樹した。私が夢みたのは、学生が枝振りのよい「クワディサー」の「大木」の陰で本を読んでもくれ

### 目

沖縄戦後資料と私	1
無料で利用できる電子ジャーナル・サービスの開始について	4
資料の配架場所案内	5
琉球大学附属図書館のあゆみ	
—シリーズ⑦— (完)	6
原忠順文庫資料展示会開催について	8

### 次

開館時間の延長	8
沖縄関係資料新着案内	9
本学教官著作寄贈図書案内	13
利用者の声	14
図書館映画会	15
お知らせ	16

ることであった。その木はまだ健在で、枝振りも見事に育っているのを見て感激した。しかし、まだ「大木」とまではいっていない。

今回私が附属図書館を訪れたのは、30年ほど前に書いた『アメリカの沖縄統治』を改訂するためであった。それで早速郷土関係資料の閲覧をお願いした。幸いに図書館の職員の中に私を知っている方がおられて、私を一階の資料室に案内してくれた。そこには、私がかつて「琉球大学戦後資料収集委員会」の同僚とともに収集した資料が立派に製本されて配架されていた。私が大学を離れてから入手された資料もあった。

ただ、すぐに気づいたのは、資料はほこりをかぶったままで、利用された形跡がほとんどないことだった。部屋には古い新聞を読んでいる学生が数名いただけであった。かつての同僚の先生方に、資料があまり利用されていない理由を聞いてみると、答えは二つあった。一つは、アメリカの占領時代は歴史の一コマであり、学生の関心はきわめて薄いということであった。あと一つは、価値のある資料がほとんどないということであった。いずれの理由も、戦後資料の収集に努力し、また、これから久しぶりに沖縄の戦後史をはじめから研究しようと意気こんでいた私にとっては、何ともやるせないものであった。

琉球大学附属図書館の戦後資料は、私を含めて多くの方々から寄贈した資料、東京の国立国会図書館から取り寄せた沖縄関係のSCAP/GHQ（ダグラス・マッカーサーの連合軍総司令部）資料、そして「琉球大学戦後資料収集委員会」が集めたものである。この資料が戦後資料の大半を占めている。

この収集委員会が設置されたのは、1969年末に沖縄の返還が決まり、米国民政府の資料の扱いが問題になっていたときであった。実際には、民政府資料は連邦政府の財産であり、ワシントンの国立公文書館で保管されることになっていたため、資料の保管については疑問の余地はなかったはずであった。ただ私たちや当時の高等弁務官は、このことをよく知っていなかった。それで私がある会合でランバート高等弁務官に、民政府の資料は沖縄の財産であるから、琉球大学に保管してはどうかと聞いてみた。高等弁務

官は、アメリカは沖縄の統治に自信をもっているため、その証しとしても、沖縄に公文書館を建てて保管しようということであった。そこで当時の池原貞雄学長にお願いして「戦後資料収集委員会」を正式に設置してもらい、私とその委員長を務めることになった。

公文書館は琉球大学のキャンパスに設置すべきだと私は考えていた。そのことで想像をめぐらしているうちに、この計画に対するクレームはすぐに来た。いうまでもなくそれは、ワシントンの国立公文書館からのものであった。高等弁務官と琉球大学との約束を知ってかどうかは分からないが、早速数名のワシントンの国立公文書館の職員が来沖して調査を始めたのである。これに対して委員会は抗議した。約束はアメリカ政府を代表する高等弁務官のものである、と。しかしそれは無駄であった。アメリカの連邦法を曲げるわけにはいかないというのである。結局、高等弁務官の約束もあるので、国立公文書館の職員が整理を終わってワシントンに郵送する前のわずかの時間を利用して、コピーをしてもよいということになった。

それから時間が追われる大仕事であった。複写機を三台持ち込んでの複写作業が始まった。複写すべき資料の選択、複写、点検と、委員とアルバイト学生と職員に休む時間などは全くなかった。まず、民政府が「基本資料」に分類した資料の複写から始まった。それには基本的な布告、布令、指令、訓令などが含まれていた。次にまとまった資料を複写した。民政府裁判所資料などがその例である。もちろん、時間をかけて資料を分類するという時間的ゆとりはなかった。したがって複写されたすべての資料が歴史的に価値のあるものではないかもしれない。しかし、委員会のメンバーやアルバイトの学生は、時間を惜しんで作業したことはたしかである。

今度改めて資料に目を通したとき、多くの「新しい」資料を掘り出すことができた。それはすでに、最近設置された「戦後沖縄対外問題研究会」の「ワーキング・ペーパー」で利用してある。資料が「新しい」というのは、資料の価値が新たに見いだされたということであって、資料が最新のものだということではない。

私は新しい資料の発掘を「潮干狩り」に例え



て説明することになっている。「潮干狩り」は潮の引き具合をみて、獲物のいそうな場所を選んで行う。しかし誰か先に潮干狩りをした後でも、必ず新しい獲物は見つかるものである。一人、あるいは数名ですべての獲物を見つけることはできない。また、資料の価値は、目的あるいは問題意識によって異なるものでもある。資料に価値を与えるのは、問題意識なのである。したがって他の研究者が資料に目を通したとしても、多くの資料のなかでは見落としがあったり、あるいは問題意識が異なるために見逃された資料もある。

今回私は、「幸運にも」私と同じ問題意識をもった研究者が資料に目を通していなかったために、予想していたよりも多くの資料を発掘できた。はっきりした目的をもって資料を見れば、新しい資料は多くある。今後、資料に新たな光が当てられるよう期待したいものである。その場合は、沖縄県立公文書館が作成した索引を利用されるとよい。

言うまでもなく、「一次資料」というのは、公文書など第三者の解釈がまだ加えられていない資料のことで、戦後資料がこれに当たる。それに対して学術論文などは二次資料と呼ばれる。一次資料を読む場合の心得として、私は常に智者の「一休さん」の話をも自分自身に言い聞かせている。ある時、力持ちを自慢する大男と一休さんが、もち米で糊を作る勝負をした。大男は臼を持ち込んで力一杯ついた。しかし、すべての米粒を潰すには相当な時間がかかる。むしろ、それは不可能である。しかし一休さんは、へらを使って二三粒づつ丁寧に潰していったのである。結局、上等な糊を早くつくったのは、一休さんであった。

この話は、一次資料の研究にも当てはまると私は考えている。一次資料は丹念に、一つ一つ、時間をかけてみる必要がある。もちろん、さきの潮干狩りのように、獲物のありそうな場所を選択しなければならない。一休さんの糊づくりで言えば、いいもち米を探すのが肝心である。

多少、説教めいたことになったが、元教師の故に致し方ない。

年のせいだろうが、私は歴史の重みを感じる

ようになっている。例の少女暴行事件いらい、沖縄側の主張が日米の政府で重視されているかのような印象を与えている。沖縄県立公文書館に保管されている米国の一次資料を丹念に読むと、米国民政府や米務省、国防省が沖縄住民をいかに「操作」しようとしたかがよく分かる。そして日本政府がアメリカ政府と協力して、いわゆる形式的な「本土並み」返還を実現していったかも、よく見えてくる。また、現在の沖縄をめぐる政治(日本政府、アメリカ政府、そして沖縄県、県民の行動)も、よく考えると、戦後沖縄の歴史の延長であることがよく理解できる。

県立公文書館に保管されているアメリカ政府の一次資料に目を通して驚くのは、沖縄県民の行動様式である。沖縄県民が日米両政府の「宥和策」にどう対応したか。現在の稲嶺県知事の行動を理解するためには、アメリカ統治下の行政主席の行動をみたほうがよい。太田元知事の行動は、屋良主席の行動と比較できよう。

同じように、日本政府の沖縄政策は、アメリカの統治政策と比較したほうが、分かり易い。多少大胆に言えば、返還後沖縄の政治は、アメリカと日本という主役が変わったというだけで、日本、アメリカ、沖縄の三者の関係にはほとんど変化がないとすら言えるように思えるのである。もしそうならば、戦後沖縄の歴史を研究することは、現在の沖縄あるいは将来の沖縄の政治を理解する上で、不可欠だと考える。

久しぶりに帰郷して、思いつくままに書いてみた。暴言は容赦願いたい。

(みやざと せいげん：元法文学部教授)



## 無料で利用できる電子ジャーナル・サービスの開始について

附属図書館は、図書館ホームページ(<http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp>)を通して、無料で利用できる電子ジャーナル(オンライン・ジャーナル)のサービスを7月末より開始しました。

電子ジャーナルの利点は、なんと言ってもその速報性にあります。印刷体の学術雑誌を海外から取り寄せる場合は、かなりの期間かかりますが、電子ジャーナルの場合は、発行されるまえに、オンラインで提供されるので、論文記事内容等をいち早く読むことができます。また、通常は検索機能を備えていますので、キーワードや著者名を手がかりに、求める情報を簡単に検索できます。

現在、利用できる電子ジャーナルは、琉球大学で購読している外国雑誌のうち、版元が無料でオンライン・ジャーナルの提供サービスを行っている下記のタイトルですが、他にも利用登録手続き中のものが多数あり、今後増やす予定です。図書館ホームページで確認して、大いにご利用ください。

American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine (ALA)  
Applied Physics Letters (AIP)  
Biological Reviews of the Cambridge Philosophical Society (CUP)  
Biometrika (OUP)  
Blood (Journal of the American Society of Hematology) (WBS)  
Brain (OUP)  
Brain Research interactive (Elsevier)  
Bulletin of the London Mathematical Society (CUP)  
Cambridge Journal of Economics (OUP)  
Combinatorics, Probability and Computing (CUP)  
Computer Physics Communication (Elsevier)  
Contemporary Economics Policy (OUP)  
The Computer Journal (OUP)  
Descriptions of Fungi and Bacteria (CABI)  
Discrete Applied Mathematics (Elsevier)

Discrete Mathematics (Elsevier)  
Economic Inquiry (OUP)  
Ergodic Theory and Dynamical Systems (CUP)  
European Journal of Phycology (CUP)  
FASEB Journal (FASEB)  
FEBS Letters (Elsevier)  
Forestry (OUP)  
Gene (Elsevier)  
Genetics  
Helminthological Abstracts (CABI)  
Human Reproduction (OUP)  
IMA Journal of Numerical Analysis (OUP)  
International Journal of Epidemiology (OUP)  
International Journal of Plant Sciences (UCP)  
Journal of Anatomy (CUP)  
Journal of Antimicrobial Chemotherapy (OUP)  
Journal of Applied Physics (AIP)  
Journal of Crystal Growth (Elsevier)  
Journal of Endocrinology (BSG)  
Journal of Fluid Mechanics (CUP)  
Journal of General Virology (SGM)  
The Journal of Heredity (OUP)  
The Journal of Infectious Diseases (UCP)  
Journal of Linguistics (CUP)  
Journal of the London Mathematical Society (CUP)  
Journal of National Cancer Institute (OUP)  
Journal of Petrology (OUP)  
The Journal of Physiology (CUP)  
Journal of Plankton Research (OUP)  
Linear Algebra and its Applications (Elsevier)  
Mathematical Proceedings of the Cambridge Philosophical Society (CUP)  
Microbiology (SGM)  
Mind (OUP)  
Mycological Research (CUP)



Nucleic Acids Research (OUP)  
 Oxford Economic Papers (OUP)  
 Parasitology (CUP)  
 Physica C : Superconductivity (Elsevier)  
 Physica D : Nonlinear Phenomena (Elsevier)  
 Physical Review A (AIP)  
 Physical Review B (AIP)  
 Physical Review C (AIP)  
 Physical Review D (AIP)  
 Physical Review E (AIP)  
 Physical Review Letters (AIP)

Physics Letters A (Elsevier)  
 QJM: Monthly Journal of the Association  
 of Physicians (OUP)  
 The Quarterly Journal of Mathematics  
 (OUP)  
 The Quarterly Journal of Mechanics and  
 Applied Mathematics (OUP)  
 The Review of Financial Studies (OUP)  
 Solid State Communications (Elsevier)  
 Tectonophysics (Elsevier)  
 Topology and its Applications (Elsevier)

## 資料の配架場所案内

◎資料の配架場所が変わりました

が今回変更した部分です。今回の配架場所の変更によって  
 2階は雑誌(1975年以前は1階)、参考図書、沖縄資料のフロア  
 3階は一般図書及び国際資料のフロアとなりました。

閱 覧 室		書 庫	
3 階	3 G室 国際資料室 (UN, EU, OECD) 一般図書 (000~299)	中3階	3 E室 和図書 (1989以前受入) 500~999
	3 A室 一般図書 (300~399)		3 階
	3 B室 一般図書 (400~999) 文庫本		
2 階	2 G室 沖縄資料室 (開架)	中2階	2 E-2 F室 洋雑誌 (1976以降) 大学紀要
	2 A室 参考図書室		2 階
	2 B室 新着雑誌室 アジア資料等		
1 階	階段踊り場 新聞コーナー	1 階	1 D室 和洋雑誌 (1975以前)
			1 C室 洋図書 (1989以前受入)

# 琉球大学附属図書館のあゆみ —シリーズ⑦(完)—

豊平朝美

## 1980年代③

### ◎湧川清栄氏からの寄贈

ハワイ在住の県出身の湧川清栄氏のご厚意により、これまで当館が受入した中で、個人からの寄贈としては最大の約1万6千冊の膨大な図書の寄贈を受けた。これらの図書は当初から沖縄へ寄贈する目的で私財を投じて収集されたもので、沖縄に大学が設立されたら、その図書を贈ろうということ、湧川氏が意識的に集めてこられた資料である。今では入手不能な資料も多い。戦後は戦争で灰塵に帰した沖縄に大学の設置を呼び掛け、実現させた影の功労者としても知られる。琉大に贈れば結果的に沖縄の若い人達や一般の人にも利用できる、本学に寄贈されることになった。本文庫の入手は湧川氏と親交のある法政大学の外間守善教授(当時)に蔵書寄贈の話が持ち掛けられ、外間教授が琉大の東江学長を通じて実現した。寄贈の前年11月に東江学長はハワイを訪問、正式に申込をした。湧川氏は沖縄県今帰仁村出身で大正9年、12歳の時、兄の呼び寄せでハワイに渡り、ハワイ大学・同大学院へ進み、その間に1年間東大へ留学した。その後、日布時事(現布哇タイムス)に新聞記者として入社した。戦前から、沖縄県人会の結成に関わり、戦後も沖縄県人史の編集、沖縄の移民の父「当山久三伝」を書いたりして異国で故郷沖縄のことを思い続けてきた。ハワイタイムス編集長を歴任、シカゴ、ハーバード大学等でも教鞭を取っている。沖縄からの海外留学生派遣を推進してきた「沖縄救済厚生会」は1947年にスタートしたが、その厚生会の幹事をつとめたのが湧川氏であった。その間ハワイの日本国総領事館顧問も務めた。

その資料の受取りに当たって、安富祖忠信図書館長(当時)と松原受入係長が平成元年4月11日にハワイの湧川氏宅を訪問して現物を調査、その後、現地で関係者と輸送方法について細かい打ち合わせをした。図書の発送作業は梱包作業を含めて、多くのハワイ沖縄県人会会員がポ

ランティアとして協力した。9月5日に沖縄に向けて船便で運送された。那覇港で燻蒸処理を行ない、9月26日に本学に到着、11月26日に受入が終了した。(「沖縄タイムス」1989年4月24日新聞記事他参照)

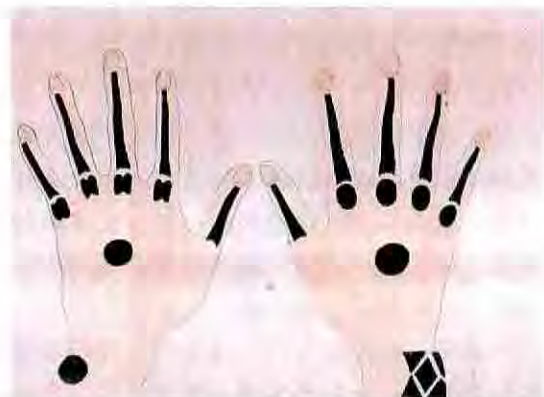
この湧川蔵書の調査費や図書の輸送費は琉大後援財団国際交流奨励基金、りゅうぎん国際化振興財団やオリオンビール等からの寄付金で賄われた。琉大は湧川氏のご厚意に対して、湧川氏夫妻をハワイより招待して、平成元年12月5日来県、12月7日に学長より感謝状が贈呈された。湧川氏の蔵書はその後、琉大の他に本県北部の名護市の名桜大学にも寄贈された。

### ◎「沖縄風俗絵巻」の発見

本学所蔵の沖縄関係資料の中に戦前の沖縄の風俗を描いた珍しい絵画資料がある。資料名を「沖縄風俗絵巻」といい、カラーの冊子体になっている。昔の沖縄風俗を紹介した非常に興味深い絵巻物である。この絵巻は熊本大学附属図書館にある原本を複製したもので、原本は巻軸であるようである。本学への入手については、当時の当館の橋本健一情報管理課長(現神戸大学附属図書館事務部長)が、1988年10月に熊本大学に出張した折に、五高記念館のガラスケースに展示しているのを発見したことによる。現物には旧制第五高等学校の角朱印があり、その隣に現在の熊本大学附属図書館の蔵書印が押されている。橋本氏の話では、五高での入手課程については不明であるという。この「沖縄風俗絵巻」の内容については本学の池宮正治法文学部教授が平成元年12月発行の琉球大学附属図書館報「びぶりお」第22巻4号に詳しく解説紹介している。それによれば、この絵巻の作者、製作年代とも不明で、明治初年から半ばにかけてのものであろうと思われ、作者は沖縄の人とみられると記されている。画面は52区画に分けられていて、最初に52のタイトルを紹介し、その中から興味深いものを池宮教授はいくつか選んで、



コメントをつけている。



「沖縄風俗絵巻」所収「入れ墨」

### ◎「原稿展」の開催

昭和59年1月から文芸作品の原稿の寄贈を芥川賞作家の大城立裕氏やその他の作家に呼びかけ、収集を図ってきたが、貴重な資料が数十点寄贈されたのを機会に昭和60年1月28日～2月28日まで図書館玄関ロビーで「原稿展」を開催した。展示作品は原稿の他に刊行された図書も展示、大城立裕氏の「カクテル・パーティ」や中原晋（本名：山里勝巳氏：本学法文学部教授）の「銀のオートバイ」（第5回琉球新報短編小説賞受賞）等8名の受賞作品を展示した。寄贈された原稿類は現在でも保管庫に保存している。

（「びぶりお」18巻1号、1985年1月号参照）

### ◎新聞資料展

首里キャンパスから移転してまもない昭和59年1月18日から31日までの12日間、学内者は勿論のこと学外者に対しても新聞資料への関心を高めて頂くため、小規模ながら「琉球弧の新聞展」を開催した。図書館2階ロビーのガラスケースを利用して展示したが、内容は当館所蔵の県内紙の数種類で戦前の「琉球新報」、「沖縄毎日新聞」、「沖縄朝日新聞」、「沖縄タイムス」、「沖縄日報」、戦後は「沖縄新報」、「うるま新報」、「沖縄ヘラルド」、「沖縄毎日新聞」、「琉球日報」、「魁（さきがけ）新聞」等であり、展示にあたってはできるだけ多種類の新聞を閲覧できる意図からタイトルページ一面のみ複写陳列した。この機会にその他の新聞と併せて、年号を付記した新聞目録を作成した。

（「びぶりお」17巻1号1984年参照）

### ◎沖縄関係貴重資料展示会開催

志喜屋記念図書館創立当初の頃、図書館所蔵の沖縄関係の古文書を外部の文化会館で公開展示してきたが、首里キャンパスから現在の千原キャンパスに移転してからも、昭和58年に同年10月24日から29日まで、読書週間にちなんで本館所蔵沖縄関係資料の中からその一部を図書館玄関ロビーの展示ケース棚に展示し、古文書等の資料的価値を認識してもらうため資料展を開催した。

展示内容は古文書の内、伊波普猷文庫からおもろさうし等5点、島袋源七文庫から浦添家本伊勢物語（沖縄県重要文化財）、宮良殿内文庫からペルリー提督来島時の手形：八重山嶋江一世流刑等2点、仲原善忠文庫から久米島仲里旧記、その他としてバジルホール航海記2点、戦後のGHQのマッカーサー指令官から本学開学式典の際に寄せられた書簡、及び第二次世界大戦後の米国沖縄統治資料関係の戦後資料など12点で、各々に解説を付けて、展示した。（「年報58年度」、「びぶりお」16巻4号参照）

平成6年度に新館が増築され、その1階に多目的ホールが設置された。その為、施設の有効活用を図るため、教官の協力を得て、毎年、沖縄関係資料の古文書等の資料展示会を行い、学内外の教職員、学生や一般市民に公開して理解を深めてきた。その他、多目的ホールでは現在、展示会の他、講演会、映画会等様々な行事を行っている。

### 終わりにあたって

今日の図書館の発展は図書館職員の地道な努力によってもたらされたものであるが、同時に資料の収集、利用者への情報提供等については教官の協力なしでは十分な成果をあげることはできない。また図書館運営委員会、その他の各種委員会、資料展示会、最近では研究開発室の発足等図書館活動に教官の協力は欠かせないものである。

今回、この「琉球大学附属図書館のあゆみ」を連載するにあたって、当館に保存している文書類を中心に記述してきましたが、補充する意味も含めて以下の文献を参照しました。「琉球大学附属図書館三十周年略年表」、琉球大学附



属図書館報「びぶりお」、「図書館年報」、「琉球大学記念誌」、「琉大風土記」、「沖縄大百科事典」、山田勉氏著書「沖縄の図書館と図書館人」及び同氏が会長を兼ねている沖縄図書館史研究会著「沖縄の図書館沿革小史」等関連文献。

さらに記載に当たって、退職された図書館OBより、多々ご助言を頂きました。また、本学の法文学部教授の垣花豊順氏、教育学部教授の水野益継氏、名誉教授の安次富長昭氏、沖縄公文書館前館長の宮城悦二郎氏、名桜大学副学長の瀬名波榮喜氏、名誉教授の大鶴正満氏、理学部教授の比嘉辰雄氏、農学部助教授の新里孝和氏等より、関連資料およびご助言等頂き心からお礼申し上げます。

「琉球大学附属図書館のあゆみ」について、

草々期からの図書館事情を出来るだけ年代順に記述し、その間、資料収集その他の図書館活動で深く関わった教官及び図書館OB諸氏のご苦勞を振り返りつつ、先人の足跡を追ってみました。又、本学の特色の一つで、戦後琉球大学がいち早く取り組み、首里キャンパス時代より現在まで、県内外より収集を図ってきた沖縄関係資料についても一部ではありますが、その入手経過について記載してきました。

これまでに記述しなければならない事項等で漏れた点も多々ありますが、誌面の都合上、割愛したことをお詫び申し上げます。後日、機会があれば補筆したいと存じます。

終わり

(とよひら ともみ：図書館専門員)

## 原忠順文庫資料展示会開催について

平成11年11月8日（月）から19日（金）まで、附属図書館1階多目的ホールで、日曜日を除いて、「原忠順文庫」の展示会を予定しています。また、同期間中の13日（土）に、同多目的ホールで午後2時より本学法文学部教授金城正篤氏による講演会も予定しています。

原忠順（天保5年～明治27年）は、明治12年に沖縄県が設置され、初代沖縄県令として、赴

任した元肥前鹿島藩主の鍋島直彬公に随行した書記官で、琉球処分後の混乱する沖縄で、日常不在の鍋島県令の代理として、在任期間の2年間、沖縄県の行政の責任者として執政に当たった人です。詩文にも優れ、文庫には漢詩類の他、琉球処分に関する生の資料が多量に含まれており、当時の珍しい写真や絵はがき、巻物、日記等120点近くあります。

### ◎開館時間の延長

医学部分館では、平成11年度より、9月と2月の試験期に限り、1時間延長して、18時閉館（ただし、授業期の土、日曜日について、閉館時間は17時）となりました。

なお、本館では、授業期は試験期に限らず、土、日は20時閉館となっています。



# 沖縄関係資料新着案内

1999年5月～1999年7月

## 0類 総 記

- |  |   |
|--|---|
| 1. 『台湾警察協会雑誌』『台湾警察時報』総目録／中島利郎, 林原文子編 東京：緑蔭書房, 1998.8<br>K051-TA    | 6. 石敢當／小玉正任著 那覇：琉球新報社, 1999.6<br>K201-KO  |
| 2. 沖縄ニュースファイル1998／沖縄タイムス社編 那覇：沖縄タイムス社, 1999.5<br>K071-OK           | 7. 沖縄近い昔の旅：非武の島の記録／森口豁著 東京：凱風社, 1999.5<br>K201-MO   |
| 3. 宮良當壯全集, 3 日本方言語彙編／宮良當壯著 東京：第一書房, 1999.6<br>K081-MI              | 8. 古代日本と南島の交流／山里純一著 東京：吉川弘文館, 1999.7<br>K201.18-YA  |
| 4. 歴代寶案：校訂本, 第8冊／沖縄県文化振興会編；濱下武志校訂 那覇：沖縄県教育委員会, 1999.3<br>K093.2-RE | 9. Japan's Battle of Okinawa, April-June 1945/by Tomas M.Huber Fort Leavenworth, Kansas: Combat Studies Institute, U. S. Army Command and General Staff College, c1990 (Leavenworth Papers, no.18)<br>K201.7-HU |

## 1類 哲 学

- |   |  |
|---|--|
| 1. 人間は無限大／新城定吉著 平良：新城定吉, 1999.3<br>K147-SH                      | 10. シマが基地になった日：沖縄伊江島二度目の戦争／真鍋和子著 東京：金の星社, 1999.4 (ノンフィクション知られざる世界)<br>K219-MA                    |
| 2. ヴェーバーの日本近代化論と宗教：宗教と政治の視座から／池田昭著 東京：岩田書店, 1999.3<br>K162.1-IK | 11. 伊江親方日々記／沖縄県文化振興会編 那覇：沖縄県教育委員会, 1999.2 (沖縄県史, 資料編7 近世1)<br>K219.8-OK                          |
| 3. 民間巫者信仰の研究：宗教学の視点から／池上良正著 東京：未来社, 1999.2<br>K163.9-IK         | 12. 自由移民名簿：自1908 (明治41) 年至1920 (大正9) 年／沖縄県文化振興会編 那覇：沖縄県教育委員会, 1999.2 (沖縄県史資料編8 近代2)<br>K219.9-OK |

## 2類 歴 史

- |   |   |
|---|---|
| 1. 日本考古学協会1998年度沖縄大会資料集／日本考古学協会1998年度沖縄大会実行委員会編集 西原町 (沖縄県)：沖縄大会実行委員会事務局, 1998.10<br>K200.2-NI | 13. 安村静日記：宇天願から宮崎へ：一般疎開／具志川市史編さん室編 具志川：具志川市教育委員会, 1998.3 (具志川市史編集資料11)<br>K224-GU |
| 2. 沖縄近代文化年表／新城栄徳編 東大阪：琉文庵, 1999.5 (琉文手帖4号)<br>K200.3-SH                                       | 14. 上勢頭誌, 下巻 長寿・人物編／上勢頭誌編集委員会編 北谷町 (沖縄県)：旧字上勢頭郷友会, 1998.9<br>K226-CH              |
| 3. 中山傳信録／徐葆光著；原田萬雄訳注 宜野湾：榕樹書林, 1999.5<br>K200.8-JO  | 15. 戦時資料, 下巻／糸満市史編集委員会編, 糸満：糸満市, 1998.11 (糸満市史資料編7)<br>K232-IT                    |
| 4. 沖縄毎日新聞見出集／沖縄文化振興会公文書館管理部史料編集室編 那覇：沖縄県教育委員会, 1999.3 (沖縄県史研究叢書6)<br>K200.8-OK                | 16. 玉里島津家史料／鹿児島県歴史資料センター黎明館編 [鹿児島]：鹿児島県, 1999.1 (鹿児島県史8)<br>K270-KA               |
| 5. 政治を民衆の手に：1997.7-1998／新崎盛暉著 東京：凱風社, 1999.6 (沖縄同時代   | 17. 教育五十五年のあゆみ：遺稿／比嘉博著；大城盛光, 東盛永共編 北中城村 (沖縄県)：比嘉清久, 1999.8<br>K289-HI             |

18. 人間・普猷：思索の流れと啓蒙家の夢／中根学著 那覇：沖繩タイムス社，1999.3  
K289-IH
19. 積乱雲：喜名盛夫追悼文集／喜名盛夫追悼文集刊行委員系編 西原町（沖繩県）：喜名盛夫追悼文集刊行委員会，1999.6  
K289-KI
20. 今残す若狭町古地図：うきしま大学／那覇市若狭公民館編 [那覇]：[那覇市若狭町公民館]，1997.1 K290.38-NA
21. 八重山ひとり旅／たけざわまさのり著 東京：明窓出版，1998.8 K290.9-TA
11. 国際政治のなかの沖繩／日本国際政治学会編 国立：日本国際政治学会；東京：有斐閣（発売），1999.2（国際政治120）  
K319-NI
12. 本当に戦争がしたいの!!：新ガイドラインの向こうに見えるもの対談／新崎盛暉，天野恵一著 東京：凱風社，1999.4  
K319.8-AR
13. 沖繩のこれから：平和な島をめざして／新崎盛暉著 東京：ポプラ社，1999.3  
K319.8-AR
14. 基地と人権：沖繩の選択／福地曠昭著 東京：同時代社，1999.4 K319.8-FU
15. 私たちの願い、平和への勇氣：おきなわ発・平和とらいあんぐるinながさき 沖繩（沖繩県）：沖繩市役所，1998.12（沖繩市親子平和大使交流報告書 第8号）K319.8-OK
16. 世界を結ぶゆいまる：国際協力の心 [浦添]：[国際協力事業団沖繩国際センター]，c1999 K329.39-KO
17. 日本移民発祥の地コルドバ：アルゼンチンコルドバ 州日本人百十年史／大城徹三著 ブエノスアイレス：らぶらた報知社，1998.11 K334.4-OS
18. アジア諸地域の社会変動：沖繩と東南アジア／戸谷修著 東京：お著の水書房，1999.2 K361.5-TO
19. 沖繩県住宅マスタープラン／沖繩県土木建築部住宅課編 那覇：沖繩県，1996.11  
K365.3-OK
20. 米国統治下の沖繩労働法の特質：幸地成憲論文集／若夏社編集 那覇：幸地成憲先生論文集刊行会，1999.2 K366.1-KO
21. 沖繩県労働史，第4巻／沖繩県商工労働部編 那覇：沖繩県，1999.3 K366.6-OK
22. 沖繩からの告発：うないとして人間として／桑江テル子著 具志川：ゆい出版，1999.5 K367-KU
23. ヤマト嫁：沖繩に恋した女たち／吉江真理子著 東京：毎日新聞社，1999.3  
K367.4-YO
24. 教師の不祥事は防げるか：教師のための不祥事マニュアル／坂名城英介著 南風原町：那覇出版社，1999.1 K374.3-HA

## 3類 社会科学

1. 琉球弧の精神世界／安里英子著 東京：お茶の水書房，1999.4 K302-AS
2. 沖繩基地文学／石坂蔵之助著 東京：新日本文学会，1999.2 K302-IS
3. 沖繩文化研究，25／法政大学沖繩文化研究所編 東京：法政大学沖繩文化研究所，1999.3 K302-OK
4. 経済統制下の県民生活資料：県民はどのように戦争への道に駆り立てられたのか，物価編 貯蓄編／久手堅憲俊，安仁屋政昭編著，南風原町（沖繩県）：あけぼの出版，1999.3（戦時資料 第1-2集） K302-OK
5. 挿絵で見る昭和初期の金武／石田磨柱著 秋田：宜野座通男，1998.12 K304-IS
6. 講話への準備過程／小倉裕児編 東京：丸善，1999.1（GHQ民政局資料「占領改革」第11巻） K312-GH
7. 琉球政府行政機構変遷図：1952.4.1～1972.5.14／沖繩県公文書編 南風原町（沖繩県）：沖繩県公文書館，1998.2 K318-OK
8. 与那国町勢要覧：よなくに日本最西端・交響する島宇宙／与那国町企画室編 与那国町（沖繩県）：与那国町，1997.12  
K318.2-YO
9. 沖繩県町村議会名鑑，平成11年版／沖繩県町村議会議長会 [編] 那覇：沖繩県町村議会議長会，1999.3 K318.4-OK
10. 国境・国家・第三次琉球処分／川田洋著 東京：スペース303，1998.4（沖繩文化講座）  
K319-KA



25. 宮城真宏教授退官記念論文集／琉球大学教育学部社会科教育学専修編編 西原町(沖縄県)：琉球大学教育学部社会科教育学専修, 1999.3 K375.3-MI
26. 城岳：写真が語る88年／二中・那覇高校創立88周年記念誌編集委員会 [編] [那覇]：県立第二中学校・那覇高等学校創立88周年事業期成会, 1999.5 K376.6-JO
27. 奄美と論島の社会組織／加藤正春著 東京：第一書房, 1999.3 (南島文化叢書20) K380.8-NA
28. 南方文化の探究／河村只雄著 東京：講談社, 1999.3 (講談社学術文庫) K382-KA
29. 久米島における東アジア諸文化の媒介事象に関する総合研究／研究代表者 横山俊夫京都：京都大学人文科学研究所, 1999.3 K382-KU
30. 奄美の歴史とシマの民俗／先田光演著 神戸：まろうど社, 1999.5 K382-SA
31. 日本の神々：谷川健一著 東京：岩波書店, 1999.6 (岩波新書新赤版618) K385.1-TA
32. 八重山芸能文化論／森田孫榮著 那覇：森田孫榮先生論文集刊行事業委員会, 1999.1 K385.7-MO
33. やんばるの祭りと神歌／名護市史編さん室編 名護：名護市教育委員会, 1997.3 (名護市史叢書15) K385.8-NA
34. 沖縄の人生儀礼と墓／名嘉真宜勝著 那覇：沖縄文化社, 1999.6 K386.6-NA
35. 南島探訪／本田安次著 東京：錦正社, 1999.4 (本田安次著作集 第18巻) K386.8-HO
36. 沖縄・奄美の説話と伝承／東喜望著 東京：おうふう, 1999.4 K388-AZ
37. バキムン退治／知念仁志画；具志川市学校図書館司書研究会文；具志川市史編さん室編 具志川：具志川市教育委員会, 1999.3 (具志川の民話紙芝居) K388-GU
38. 田場大工タラー／伊計光義画；具志川市学校図書館司書研究会文；具志川市史編さん室編 具志川：具志川市教育委員会, 1999.3 (具志川の民話紙芝居) K388-GU
39. 出版の自由／古川純, 岡本篤尚訳 東京：日本図書センター, 1999.3 (GHQ日本占領史17) K391.4-GH
40. 財閥解体／細谷正宏, 水谷憲一訳 東京：日本図書センター, 1999.3 (GHQ日本占領史28) K391.4-GH
41. 企業の財務的再編成／岡崎哲二解説・訳 東京：日本図書センター, 1999.3 (GHQ日本占領史40) K391.4-GH
42. 林業／松下幸司, 田口標訳 東京：日本図書センター, 1999.3 (GHQ日本占領史43) K391.4-GH
43. 石炭／宮崎正康, 雑賀夫佐子訳 東京：日本図書センター, 1999.3 (GHQ日本占領史45) K391.4-GH
44. 重工業／長谷川信解説・訳 東京：日本図書センター, 1999.3 (GHQ日本占領史48) K391.4-GH
45. 通信／小菅敏夫解説・訳 東京：日本図書センター, 1999.3 (GHQ日本占領史55) K391.4-GH
46. 名護市民燃ゆ：新たな基地はいらない：市民投票報告集／名護市投票報告集刊行委員会編 名護：海上ヘリ基地建設反対・平和と名護市政民主化を求める協議会, 1999.5 K395.39-NA

## 4類 自然科学

1. 比嘉照夫のすべて／サンマーク出版編集部編 東京：サンマーク, 1998.10 K465-HI
2. 日本の渚：失われゆく海辺の自然／加藤真著 東京：岩波書店, 1999.4 (岩波文庫新赤本613) K468.8-KA
3. 琉球弧・野山の花：from AMAMI 太陽の贈り物／片野田逸朗写真と文 鹿児島：南方新社, 1999.6 K472.1-KA
4. 沖縄医学史：近世・近代編／稲福盛輝著 那覇：若夏社, 1998.12 K490.2-IN
5. 沖縄における社会環境と長寿に関する縦断的研究／主任研究崎原盛造 西原町(沖縄県)：[崎原盛造], 1999.3 K498.38-OK

## 5類 技術

1. 航空機騒音による健康への影響に関する

調査報告書／沖縄県文化環境部環境保全室  
 [編] 那覇：沖縄県, 1999.3 K519.6-OK

K726.5-CL

6類 産 業

1. 沖縄企業立地ガイド／沖縄県工業連合会編 [那覇]：沖縄総合事務局通商産業部, 199- K601-OK
2. 復帰後の沖縄農地制度資料／沖縄農地制度資料集成編集委員会編集 [那覇]：沖縄県農林水産部, 1998.3 K611.2-OK
3. 農薬なしで害虫とたたかう／伊藤嘉昭, 垣花廣幸著 東京：岩波書店, 1998.12 (岩波ジュニア新書311) K615.86-IT
4. さつまいも／坂井健吉著 東京：法政大学出版局, 1999.2 (ものと人間の文化史90) K616.8-SA
5. 沖縄の都市公園／沖縄広報センター編 那覇：沖縄県土木建築部都市計画課, 1999.3 K629.3-OK
6. 珊瑚／鈴木克美著 東京：法政大学出版局, 1999.3 (ものと人間の文化史91) K668.8-SU
7. テーマパークの導入による観光産業振興調査報告書／国建 [編] 那覇：国建, 1998.3 K689-KU
8. 沖縄県における観光客の行動等実態調査報告書／三菱総合研究所 [編] 東京：三菱総合研究所, 1998.3 K689.1-OK
9. 屋良悦子のおはようインタビュー：ラジオは感動の共鳴箱, 第1巻／屋良悦子編集 西原町 (沖縄県)：丸正印刷, 1998.10 K699.3-TA

7類 芸 術

1. 嘉手納町の文化財／嘉手納町教育委員会編 嘉手納町 (沖縄県)：嘉手納町中央公民館, 1999.3 K709-KA
2. ていんさぐの花：時代人情劇／真喜志康忠脚本；新里堅進劇画 那覇：琉球新報出版部, 1999.6 (劇画真喜志康忠シリーズうちなー芝居名作劇場3) K726-GE
3. ミキと糸満の少年／キャサリン M.クレメンテ文・絵；新垣洋子, ぐしともこ和訳 那覇：沖縄高速印刷 (印刷), c1996

4. ミキとイリオモテヤマネコ／キャサリン M.クレメンテ文・絵；パトシリア ブラウン英文編集；上里美智子 [ほか]訳 那覇：沖縄高速印刷 (印刷), c1997 K726.5-CL
5. ボン太とヒュー子／野村ハツ子さく；前田勇憲絵 南風原町 (沖縄県)：沖縄高速印刷出版部；1997.8 (野村ハツ子シリーズ1) K726.5-NO
6. ガーナ森とオーバー岩／野村ハツ子作；稲福隆絵 南風原町 (沖縄県)：沖縄高速印刷出版部, 1997.8 (野村ハツ子シリーズ2) K726.5-NO
7. 軽便鉄道アヒュー／野村ハツ子作；松崎洋絵 南風原町 (沖縄県)：沖縄高速印刷出版部, 1999.1 (野村ハツ子シリーズ3) K726.5-NO
8. 鳥からの贈り物：空、花、そして海／野村弘子写真；鳥谷裕文 那覇：ボーダーインク, 1999.5 K748-NO
9. 阿真和利：オペラ [沖縄 (沖縄県)]：[沖縄市教育委員会], 1997.3 K766.1-AM
10. 残したい古典歌のしらべ：平成三年春／親川光繁著 那覇：沖縄三越, 1991 K767.51-OY
11. わかりやすい歌三線の世界：古典の魂 (こころ)／勝連繁雄著 具志川：ゆい出版, 1999.6 K768.5-KA
12. 琉球箏曲十四絃箏工工四：歌・三線譜付／山内秀吉著 [読谷村 (沖縄県)]：山内秀吉琉楽研究会, 1999.2 K768.6-YA
13. 沖縄尚学「夢」の頂点へ：第71回選抜高校野球優勝記念グラフ／沖縄タイムス社編 那覇：沖縄タイムス社, 1999.4 K783.7-OK
14. 沖縄球児全国制覇：'99第71回選抜高校野球大会：県勢初、沖尚栄光の記録／琉球新報社編 那覇：琉球新報社, 1999.4 K783.7-RY
15. 唐手拳法全／陸奥瑞穂著 復刻版 宜野湾：榕樹書林, 1999.5 K789.2-MU
16. Karate-do : history and philosophy / [by Takaō Nakaya] Carrollton, Tx : JSS, c1986 K789.2-NA



## 8類 語 学

1. 多言語文化のディスタール：民衆文化と社会と芸術／水之江有一編 東京：多賀出版，1999.2 K800-MI
2. 沖縄語の文法／中松竹雄著 新版 那覇：げんけん出版，1999.2 K800-NA
3. アメリカTESOL留学：教師たちの大学院物語／山内進編著 那覇：沖縄時事出版；那覇：沖縄学販(発売)，1999.6 K830.7-YA
4. 伊江島のはなしことば：シマグチで語る村の生活と言いつたえ／生塩睦子著 伊江村(沖縄県)：伊江村教育委員会，1997.3 K881-OS

## 9類 文 学

1. タロくんとキジムナーのジルウ／船越義彰作；前田勇憲絵 東京：新日本教育図書，1999.4 K909-FU
2. 海やからドンドン／比嘉佑典絵と文 具志川：ゆい出版，1999.1 K909-HI
3. 榕樹の歌人たち：榕樹短歌会三十周年を記念して／義原ミヤ子編 鹿児島：南方新社，1998.11 K915-YO
4. サンパギータ：フィリピン詩篇／高良勉著 東京：思潮社，1999.2 K917-TA
5. 山之口獏詩文集／山之口獏[著] 東京：講談社，1999.5(講談社文芸文庫) K917-YA
6. 子午線の祀り・沖縄 他一編／木下順二

- 作 東京：岩波書店，1999.1(木下順二戯曲選4) K920-KI
  7. 黄色軍艦／長堂英吉著 東京：新潮社，1999.3 K930-NA
  8. ムィアニ由来記／崎山多美著 東京：砂子屋書房，1999.1 K930-SA
  9. 夕映えのうた／長嶺春著 [豊見城村(沖縄県)]：[長嶺春]，1998.10 K940-NA
  10. おきなわバンジャーン！：四〇〇字の世界から／上江田清実著 豊見城村(沖縄県)：沖縄図書センター，1999.2 K940-UE
  11. 明るい旅情／池澤夏樹著 東京：新潮社，1997.9 K950-IK
  12. 志乃／川平和江著 那覇：新報出版，1999.6 K950-KA
  13. 陽炎ゆれて：精神病なんて怖くない／沖山真知子著 那覇：ニライ社 東京：新日本教育図書(発売)，1999.4 K950-OK
  14. 石畳／沖縄エッセイストクラブ編 那覇：沖縄エッセイストクラブ，1999.4(沖縄エッセイストクラブ作品集16) K950-OK
  15. NHKスペシャル「沖縄・先島への道／奥州白河・会津のみち」／NHK「街道をゆく」プロジェクト著 東京：日本放送協会，1999.3(司馬遼太郎の風景6) K950-SH
  16. 漢詩集，第2巻／宜野座秀峰 [秋田]：[宜野座通男]，1998.10 K990-KA
- 注) 各資料末尾の記号は請求記号です。

## 本学教官著作寄贈図書案内

1999年5月～1999年7月

山里純一(法文学部)

古代日本と南島の交流／山里純一著 東京：吉川弘文館，1999.7 K201.18-YA

小柳正弘(法学文部)

西洋近代思想史：十九世紀の思想のうごき，上巻；下巻／G. H. ミード著；魚津郁夫，小柳正弘訳 東京：講談社，1994(講談社学術文庫) 133-ME

G.H.ミードの世界：ミード研究の最前線／船津衛編 東京：恒星社厚生閣，1997.3

361.253-FU

水野益継(教育学部)

学問への洞察眼と理解力：人間学的な科学目標の探究／S. トゥールミン著；水野益継訳 西原町(沖縄県)：琉球大学，1999.3(Ryukyus 郷学研究ブックレット) 321.1-TO

馬場繁幸(農学部)

マングローブ植林のための基礎知識：マングローブ林の再生のために／馬場繁幸，北村昌三共編 東京：国際緑化推進センター，1999.3 653.27-BA

注) 各資料末尾の記号は請求記号です。

## ＝ 利用者 の 声 ＝

「資料の配架のみだれ」「館内でのマナー」「クーラーに関する要望」「閲覧机・椅子の改善」などの要望が多く寄せられ、要望に応えられるものはその都度対応しています。ここでは、最近1年間の投書の中から、今後の図書館サービスの改善に生かせる内容のものを紹介します。

### 【資料の配架のみだれ】

Q：一年次です。図書館が好きでよく来ますが、はじめはこの書庫は冗談でこうやっているのかと思いました。本がちっとも整理されていません。まったく驚きました。御願いですから他の作業（データベース、映画上映会）が遅延してでも図書館の基幹である書庫の整理だけどうにかして下さい。紹介パンフレットに（琉大の図書館は自慢とありました。見かけだおしと呼ばれないようにして下さい。こんどの一年次に図書館とはこういうものなのかと思われなくて下さい。（これは重要。原因の大きな一つだと思う）。

いろいろと雑務もあって忙しいとは思いますが、せっかくのデータベースもボランティアも建物も開館時間もちっとも意味がなくなってしまう。今日は整理だけで終わってしまいました。休館にしても琉大生に書庫の整理を分からせて下さい。特に一年次はまだ知らないうちに!!

(1999.5.6)

Q：パソコンで探しても、分類番号の棚に置かれていない本がたくさんあります。

月1回でも良いので本の整理をして欲しいです。

書庫と一般の本の区別がありません。

ボランティアでよければ参加したいです。

(投書日不明)

A：利用者の方にはいつも申し訳ないなあと思っています。現在、図書館では毎週金曜日及び毎月第4木曜日の定例休館日に職員の手で館内の書架整理を行っており、ボランティアの協力も仰いでいますが、書架の乱れに追いつかないのが現状です。サービス課ではこのほか、貸し出された図書を書架に配架する際などにも適宜書架の整理を行っています。

O P A C で検索・確認されたデータ通りに図書が配架されていることもまた大切なことです。このために、公共図書館などではご存知のように蔵書点検のための時間（半月間の休館）を取っているのですが、琉大図書館では図書館を利用できる時間を確保するために、定例休館日のほかには現在のところこのような時間を取っておりません。資料の確実な提供のためには、書架整理だけでなく蔵書点検も考えていく必要があります。

書架の乱れをできるだけ最小限に抑えて、利用者の皆さんが快適に図書館を利用できるようにするためには、利用者の皆さんの協力も必要です。閲覧や複写など館内で利用された図書はもとの場所へ正確に返していただくこと、書架から図書を取り出されたときは、隣の図書が倒れないようにしていただくなど図書の取扱いについての配慮をお願いしたいところです。

### 【館内でのマナー＝利用者の提言】

Q：図書の読書室内の雑談が非常に多く、本来の大学のそれからかけはなれている。

中には、ワープロまでパチパチ音をたてている始末だ。(3階の西側)

名実ともに三流らしくなって来ている。

参考まで、内地の国立大と比べて下さい。

(1998.8.28)



Q：私は県外の大学に通っている者です。琉大の図書館を見て思ったことなのですが、設備（クーラー、自習機の多さ、蔵書の数等）はとても整っているのに、それを利用する人のマナーが相当悪いです。机の場所取りや携帯電話に関しては全国的に起こっているのに、琉大だけに厳しくは言えません。私の様な県外の学生もこのことについては反省しています。しかし、琉大での本に対する扱いは最低です。小学生よりも悪いです。並べられていない本を片づけていると、この本を扱っていた人達の勉強している内容がわかります。本さえも満足に扱えないのに、法律・教育・科学等の勉強をして何が得られるのでしょうか？ 多分、この人達が得たいと考えているものは、単位、資格、お金を得るための職業なのでしょう。この様な人たちに本よりも扱いが難しく、有機的な生徒（子供）を教育できるのでしょうか？ 政治や経済・環境等のグローバルな問題に真剣に取り組めるのか？ 私は疑問です。毎週ボランティアの人達が片づけているからこそ、今の状態が保てていることに感謝して下さい。そして、もう一度自分自身の行動を考え直してみして下さい。

私の学校には明治時代のものと思われる本もありますが、この学校の本ほどボロボロではありません。ここの方が新しい本なので、大切に扱って次の人に残して行って下さい。

(国立大学学生：1999.7.8)



場	所：琉球大学附属図書館 1階 多目的ホール
上映時間：	
☆休業期	13：30～
通常期	①15：00～ ②18：00～

【10月の予定】

- 10月6日（水）制服の処女：MÄDCHEN IN UNIFORM (1931) ドイツ映画 85分
- 10月13日（水）ドイツ零年：GERMANIA ANNO ZERO (1947) イタリア映画 91分
- 10月20日（水）きけ、わだつみの声：戦後50年記念作品 (1995) 東映＝バンダイ 130分
- 10月27日（水）否（ノン）を表現した学生たち～1950年代『琉大文学』の軌跡～：琉球大学法文学部社会科学部広報学コース「広報学実習」テレビ制作実習作品 (1995) 56分

【11月の予定】

- 11月4日（木）ガス燈：GASLIGHT (1944) アメリカ映画 114分
- 11月10日（水）アンナ・カレニナ：ANNA CARENINA (1948) イギリス映画 111分
- 11月17日（水）居酒屋：GERVAISE (1956) フランス映画 115分
- 11月24日（水）エマニエル夫人：EMMANUELLE (1974) フランス映画 95分

【12月の予定】

- 12月1日（水）野ばら：DER SCHÖNSTE TAG MEINES LEBENS (1957) ドイツ映画 95分
- 12月8日（水）雨の朝パリに死す：THE LAST TIME I SAW PARIS (1954) アメリカ映画 116分
- 12月15日（水）リリー・マルレーン：LILI MARLEEN (1981) ドイツ映画 120分
- 12月21日（火）第九交響楽：SCHLUSS AKKORD (1936) ドイツ映画 98分  
(学外の一般の常連ファンからのリクエストによる再上映です。)

※ 映画会に関するお問い合わせ・ご要望は、図書館資料サービス係まで Tel: (895) 8166

# お知らせ

## ◎ 開館案内 1999年10～12月

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	日	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30					26	27	28	29	30	31	
31																				

- ・開館時間 通常期：月～金〔黒字〕8:30～22:00 土・日〔緑字〕13:00～20:00  
 休業期：月～金〔青字〕8:30～17:00 土・日〔赤字〕休館  
 ただし、医学部分館は秋季休業期間中（9/23～10/3）は通常期開館です。
  - ・休館日 〔赤字〕土・日曜（秋季休業：9/23～10/3、冬季休業：12/25～1/6）  
 年末年始（12/28～1/4） 琉大祭（11/13～11/14）  
 祝日（10/10、11/3、11/23、12/23）、定例休館日（10/28、11/25、12/22）
- ※本館では当月、翌月の開館案内（カレンダー）を入り口及び掲示板に掲示しています。  
 ご留意ください。（年間の開館案内はホームページをご覧ください）

### ◎長期貸出開始

12月25日（土）～1月6日（木）は冬季休業のため、12月10日から長期の貸出しを行います。  
 貸出冊数は通常通りで変更はありません。返却期限は、平成12年1月17日（月）です。  
 また、長期貸出した資料については、貸出延長の手続きはできませんのでご注意ください。

### ★誤植訂正

- ①前号(N.123)の p.2の右側27行目の1898年（尚温4年）は1798年に訂正します。
- ②前号(N.123)の p.23の附属図書館運営委員の米須章助教授のお名前が彰になっていましたので訂正します。
- ③前号(N.123)の p.23の附属図書館医学部分館運営委員の砂川洋子氏の職名は教授の誤りでした。

### ★記載漏れ

- ①前号(N.123)の p.22の人事異動で配置換区分の氏名安田公子の異動先は琉球大学附属図書館情報管理課総務係主任、現職は理学部数理科学科の記載漏れがありました。
- ②前号(N.123)の p.22の人事異動で転入区分の氏名江澤一裕の異動先に主任の記載漏れがありました。また現職の東京大学附属図書館は文部省の誤りでした。

◎今回より、「図書館事情」等利用者に直接関係のない記事は消えることになりました。

琉球大学附属図書館報 “びぶりお” 第32巻 第4号（通巻第124号）  
 平成11年10月1日発行

発行：琉球大学附属図書館 〒903-0214 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地  
 電話 098(895)8168 Fax.098(895)8169

発行人：附属図書館事務部長 伊藤祐三 編集：“びぶりお”編集委員会